

第205期 中間

営業のご報告

平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで

トピックス

地域密着型金融の取り組み

CSR活動

業績ハイライト

KIYO

ごあいさつ

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成26年9月中間期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や第3次中期経営計画の概要、また、最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は、緩やかな回復を続けたものの、消費税率引き上げに伴う反動が予想以上に長引くなど、一部に弱さも見られました。緩やかに物価が上昇するなか、夏の天候不順も影響し個人消費に足踏みが見られるようになりました。米国の景気回復や金融緩和観測などにより一段と円安・株高が進行しましたが、海外生産の増加等により企業部門への効果は限定的となり、企業の業況判断には慎重論もみられるようになりました。

このような中、グループの中核会社である紀陽銀行におきましては、業績の向上に取り組んでまいりました結果、収益基盤の中心となる預金・貸出金とも第3次中期経営計画の目標を上回るなど残高は順調に増加するとともに、損益面につきましても経常利益90億円、中間純利益は63億円となり、当中間期の業績予想を上回る利益を計上することができました。また、株主還元の一環として、平成24年度より自己株式の取得を実施しておりますが、今年度も平成26年9月17日までに731,100株の自己株式を取得いたしました。

当行グループの主要な営業エリアである和歌山県では、今年7月に世界遺産として登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」が10周年を迎えました。来年は「紀の国わかやま国体・大会」開催および「高野山開創1200年記念大法会」に伴う行事があり、多くの方が和歌山県にお越しになる等、和歌山県の観光事業にはまたとない機会を迎えております。また、来年5月には、紀陽銀行も地域の皆さまに支えられ、創立120周年という節目の年を迎えます。ご愛顧いただいている地域の皆さまに感謝の気持ちをお伝えできるよう、地域活性化に向けた活動を支援するとともに、当行グループの経営基盤強化に努めてまいります。皆さまには引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年12月

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



取締役頭取 片山博臣

ミニ・ディスクロージャー誌
平成26年9月中間期 営業のご報告

目次

■ ごあいさつ	1
■ 第3次中期経営計画	2
■ トピックス	3
■ 地域密着型金融の取り組み	5
■ CSR活動	7
■ 業績ハイライト	9
■ 財務諸表	11
■ ネットワーク	13
■ 株式情報	14

第3次中期経営計画

平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートしております。大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀へとなく、地元経済の成長を促す「強力なリレバン活動」を推進してまいります。

紀陽銀行の基本方針

目指すべき
銀行像

「お客様から選ばれ続ける銀行」

お客様の満足を第一とする心（ハート）を大切にし、お客様の良き相談相手として知恵（ブレイン）を絞り、汗をかき行動する（アクション）銀行を目指します。

第3次中期経営計画における主要テーマ

「大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀」への着実な変身

公的資金完済とその後の安定的な内部留保蓄積を可能とする収益力の確保

地域内での存在感を高め、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なリレバン推進」

主要戦略

- 1 大阪府南部を中心とした営業基盤の強化
- 2 顧客満足度向上に向けた営業体制の変革
- 3 経営管理態勢の強化
- 4 CSR活動推進等による存在感の向上

紀陽銀行単体		平成25年9月期	実績	平成26年9月期	実績	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
規模	預金等期末残高	3兆6,056億円		3兆7,260億円		3兆6,000億円以上	
	うち個人＋一般法人の残高	3兆4,243億円		3兆5,209億円		3兆4,500億円以上	
	貸出金期末残高	2兆5,814億円		2兆6,236億円		2兆6,000億円以上	
	うちローン残高	8,861億円		8,820億円		9,300億円以上	
収益性	投資信託期末残高	1,613億円		1,768億円		1,850億円以上	
	コア業務純益	81億円		78億円		200億円以上	
効率性	コア業務純益ROA(コア業務純益÷総資産期中平均残高)	0.41%		0.38%		0.50%以上	
	OHR(経費÷業務粗利益)	72.94%		69.99%		65%程度	
健全性	不良債権比率	3.47%		3.37%		3.5%未満	
旧紀陽ホールディングス連結		平成25年9月期	実績	紀陽銀行連結	平成26年9月期 実績	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
収益性	当期純利益	65億円		58億円		90億円以上	
健全性	自己資本比率	10.57%		11.26%		11%程度	

※紀陽銀行は、平成25年10月1日に紀陽ホールディングスを吸収合併しましたので、平成26年9月期の連結実績は、紀陽銀行連結の計数です。
※自己資本比率については、平成26年3月末より新たな自己資本比率規制（パーゼルⅢ）を適用しています。

Apr.

4月

「紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off」 サービス提供の開始

4月より「紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off」をスタートさせました。「紀陽エンジョイ倶楽部 Club Off」は、紀陽銀行を給与振込口座(※)にご指定いただいているお客さまに対して会員限定の優待特典をご提供するサービスです。国内外のリゾートホテル、ビジネスホテルや各種有名レジャー施設、日帰り湯施設などの優待割引のほか、フィットネスクラブ、ハウスクリーニング、ショッピングのディスカウントなどの多彩なサービスメニューが揃っており、従業員の皆さまの福利厚生に幅広くお役立ていただいております。

※通帳の摘要欄に「給与振込」と表示されているもの



Mag

5月

「厚生年金基金対策 セミナー」の開催

5月19日・20日、厚生年金基金加入の企業経営者と実務責任者の方を対象に、「厚生年金基金対策セミナー」を開催いたしました。東京海上日動火災保険株式会社の401k事業推進部より講師をお招きし、数年内に実施される厚生年金基金制度の改革に向けて、加入事業所としての対応策などをレクチャーしていただきました。講演終了後には個別相談会を実施し、厚生年金基金に関するさまざまな疑問にお答えいたしました。紀陽銀行は今後も、事業主の皆さまが抱える課題のよき相談相手として貢献してまいります。



Jun.

6月

「世界遺産定期預金」 〈第3弾〉取扱いの開始

「世界遺産定期預金」は、世界遺産登録10周年を迎えた「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動を支援するために、お客さまからお預けいただいた総額の0.01%相当額を、和歌山県世界遺産協議会に寄付させていただき定期預金です。

平成25年6月に第1回目の取扱いを開始し、多くのお客さまのご賛同のおかげにより同年8月に募集金額を達成。平成26年6月2日に第3回目の取扱いをスタートいたしました。また、平成25年11月から開始した第2回目の取扱い分は、平成26年2月に募集総額300億円に到達し、6月3日、紀陽フィナンシャルグループの片山取締役頭取より和歌山県世界遺産協議会へ寄付金贈呈が行われました。



Jun.

6月

「紀陽 きいちゃん定期預金」 の取扱い

6月2日から、夏のボーナスシーズン商品「紀陽きいちゃん定期預金」の取扱いをいたしました。「紀陽きいちゃん定期預金」は、平成27年開催の「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」のオフィシャルスポンサーを務める紀陽銀行が、二大イベントを盛り上げるべく、大会マスコット「きいちゃん」のオリジナルグッズを景品として発売した特別金利の定期預金です。

紀陽銀行は今後も、話題性あふれる商品でお客さまの暮らしに貢献してまいります。



Jun.

6月

近畿大学・和歌山大学にて 「合同企業説明会」の開催

6月6日、連携先である近畿大学生物理工学部において、学内合同企業説明会を開催いたしました。紀陽銀行のお取引先を含む17社が参加され、卒業予定の学生の方々と面談されました。また、21日には和歌山大学において合同企業説明会を実施し、32社の企業が参加され、学部生、大学院生の方々に向けて企業PRをされました。

紀陽銀行は毎年、地元企業と学生の皆さまの出会いの場を提供しています。今後も、合同企業説明会への取り組みを通じて、地域経済活性化のサポートに努めてまいります。



Sep.

9月

産学官連携プロジェクト 地域活性化事業 「大人大学」の開催

和歌山県でしか体験できない「学び」を通じた地域活性化事業「大人大学」を、9月21日から27日の7日間、和歌山大学と株式会社和歌山リビング新聞社との連携により実施いたしました。「世界遺産の聖地 紀州・和歌山への短期留学」をテーマに広く県外から参加者を募り、和歌山大学や高野山大学より講師をお招きして郷土色豊かな講座を開講、和歌山県の歴史・文化と魅力を広く他県の方々にPRしました。今後も、このような活動を通じて、和歌山県の観光と文化の交流を支援してまいります。



Aug.

8月

和歌山県 「農業近代化資金」 取扱いの開始

8月28日から、和歌山県「農業近代化資金」の取扱いを開始いたしました。「農業近代化資金」は、和歌山県内で農業に従事する法人、個人の方を対象に、農業用施設の建築や改良、農機導入などの設備資金を低金利で長期に融資するものです。紀陽銀行では、「農業近代化資金」とともに、農林漁業事業者の皆さまの事業拡大を支援する「紀陽6次産業化ファンド」を立ち上げるなど、地域の1次産業の成長と活性化の支援に力を入れています。

地域密着型金融の取り組み

地域金融機関として、法人・個人事業主の皆さまへの支援と地域経済の発展をサポートするさまざまな取り組みを行っています。

海外ビジネス活動のサポート

海外進出に向けたお客さまの課題解決に対する支援の強化を目指した「グローバル・サポート・デスク」を設置し、多様なビジネス・ニーズにお応えしています。

「グローバル・サポート・デスク」では、公的機関やコンサルティング会社などの外部専門家と提携し、お客さま個別のご要望に応じた相談会や商談会を実施。平成26年においても計5回にわたって個別相談会を行い、中国、インド、東南アジアの国々などにおける市場環境やパートナー企業、委託加工先などについての情報をご提供いたしました。

また、海外現地における資金面支援などにつながる施策も積極的に推進。台湾、ベトナム、フィリピンの有力金融機関と業務提携を結び、お客さまへの経済情報の提供、口座開設、資金調達のサポートを行っています。さらに、株式会社日本政策金融公庫と「スタンドバイ・クレジット制度」にかかわる基本契約を締結。インドネシア、シンガポール、タイ、韓国など計7カ国に進出されているお客さまの海外現地法人に対して、現地金融機関より現地通貨建ての資金調達ができるようサポート体制を設けています。



地域経済活性化のサポート

地域の特性豊かな産業の成長支援を目指し、平成26年に「紀陽6次産業化ファンド」および「わかやま地域活性化ファンド」を設立しました。「紀陽6次産業化ファンド」は、国が主導する6次産業化の農林漁業成長産業化支援機構法施行を受けて、農林漁業事業者とそのパートナー事業者による新たな事業計画を出資の形で支援するものです。複数の金融機関と公的機関の連携で運営され、8月には和歌山県内における投資先の第一号が決定しました。

「わかやま地域活性化ファンド」は、和歌山県内の観光分野の活性化支援を目的に、地域経済活性化支援機構とその子会社、地域金融機関が連携し、地元観光関連企業に出資を行うもので、この枠組みで組成されたファンドでは全国第一号となります。

※6次産業化とは 第1次産業である農林水産業者が、農林水産品の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売、観光農園といった第2次産業、第3次産業にまで取り組むこと。

大規模災害対策のサポート

紀陽銀行の営業エリアである和歌山県・大阪府は「南海トラフ巨大地震」や直下型地震発生の際に甚大な被害が予想されており、本格的な災害対策が急務となっています。当行は平成26年、和歌山県・大阪府において大規模災害対策セミナーを開催し、お客さまに災害時の実践対応策をご紹介しました。また、人命を預かる医療機関の方々を対象に「現場で使える『医療機関BCPセミナー』」を開催。災害時の危機的状況での医療機関のBCP（事業継続計画）について事例紹介や講演、実践的な模擬訓練を行いました。

さらに、災害時の備えを資金面から支援する「南海トラフ地震対策ローン」の取扱いを開始いたしました。これは、企業の従業員や地域住民の安全確保のための津波避難タワーの建築費や、耐震補強工事費、災害時事業継続計画の策定費用などをご融資によってサポートするものです。



事業承継・相続のサポート

後継者の確保などにはじまる円滑な事業承継は、事業主の方々にとってきわめて重要な課題です。また、資産相続には、法的な知識や財産運用に関する事前準備が必要です。これらの課題解決支援のために「事業承継セミナー」の開催や、事業主の方を対象にした個別相談を実施しています。また、後継者、若手経営者の方を対象とした「紀陽銀行次世代経営者アカデミー」を開催、外部から講師を招き、5カ月間のカリキュラムで事業承継の本質をおさえ、組織づくり、財務知識、戦略の立て方などの実践的なレクチャーを行いました。

さらに、資産を相続された方を対象に、平成26年8月から平成27年3月まで「紀陽相続定期預金」の取扱いを行っています。相続により取得されたご資金に限りお預け入れいただけるものとなっており、紀陽銀行の専門スタッフによるコンサルティングサービスも含めて、相続された資産の安全かつ確実な運用をお手伝いする金融商品です。





環境保全への取り組み



地域の美しい自然を守るために…

和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に平成18年より参画しています。毎年、社内にてボランティアを募り、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において、森林の保全活動に努めております。



自然遺産を次代に伝えるために…

熊野古道の参詣道環境保全活動

和歌山県が誇る「世界遺産」熊野古道は、雨や台風の被害にたびたび見舞われています。紀陽銀行では、熊野古道参詣道の傷みを修復し、その価値を次代へ伝えていくため役職員参加によるボランティア活動を行っています。



地域イベントへの取り組み

よりよい街とふれあいを育むために…

和歌浦ベイマラソン with ジャズ

平成7年に「紀陽銀行小さな親会の会」を発足し、行員やその家族による地域ボランティア活動が続けています。和歌山市に全国のランナーが集まって毎年実施されている「和歌浦ベイマラソン with ジャズ」の運営をはじめ、地域のさまざまな行事のサポートに努めています。



和歌山県綱引選手権大会

小学生から大人まで、毎年県内各地から数百人が集まり実施されている「和歌山県綱引選手権大会」。紀陽銀行はこのイベントに協賛、また行員チームも試合に参加し、地域の皆さまとともに大会を楽しく盛りあげています。これからも地域の元気を力いっぱい応援していきます。





芸術・文化・スポーツを通じた取り組み

広く文化にふれていただくために…

一般財団法人紀陽文化財団

平成7年より毎年開催している「紀陽コンサート」。平成26年9月13日には、飯森範親氏の指揮、日本センチュリー交響楽団による第38回目の演奏会を行いました。

また、和歌山県立近代美術館・博物館で開催される展覧会に地域の皆さまをご招待しております。



スポーツの楽しさを伝えるために…

バスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)

紀陽銀行の女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」は地元の小中学生を対象としたバスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)を開催しております。地元にも愛されるチームとして活動してまいります。



地域の金融教育への取り組み

現場の経済学を伝えるために…

和歌山大学での経営論講義

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学で当行の役員が「和歌山企業トップ経営論」の講義を行っております。また、和歌山工業高等専門学校でも行員が講義を行っております。



経済の基本を学んでもらうために…

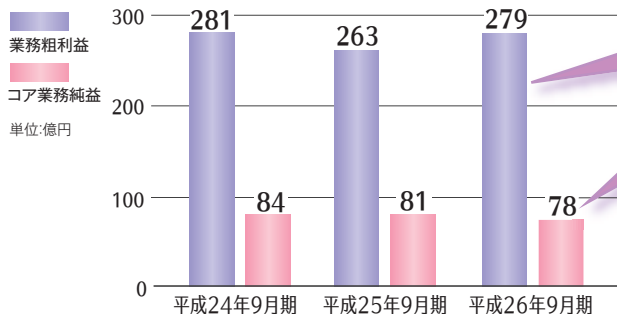
金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」

紀陽銀行では、金融教育の一環として金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」へ協賛しております。「MoneyConnection®」の公認実施

団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と協力し、高校生を対象にした認定講師による出張授業を行い、「働くこととお金」について学ぶ機会を提供しております。



業績ハイライト



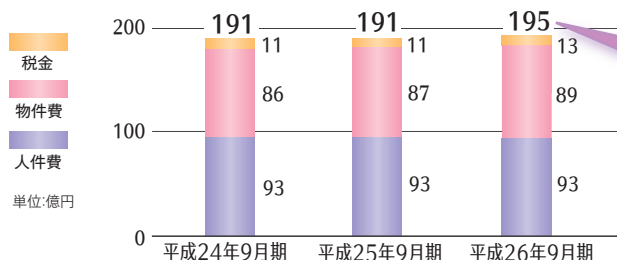
業務粗利益(単体)

279億円

コア業務純益(単体)

78億円

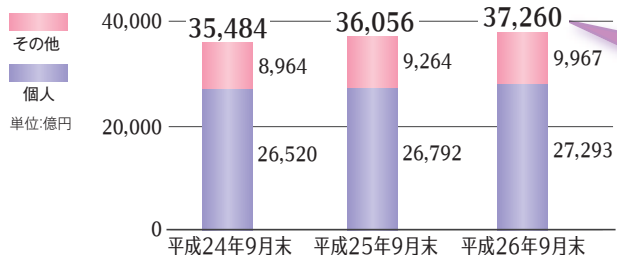
貸出金利息は市場金利の低下の影響を受け減少しましたが、役務取引等利益は横這いとなりました。債券関係損益が増加したため、業務粗利益は前年同期比16億円増加の279億円となりました。また、コア業務純益は前年同期比3億円減少の78億円となりました。



経費

195億円

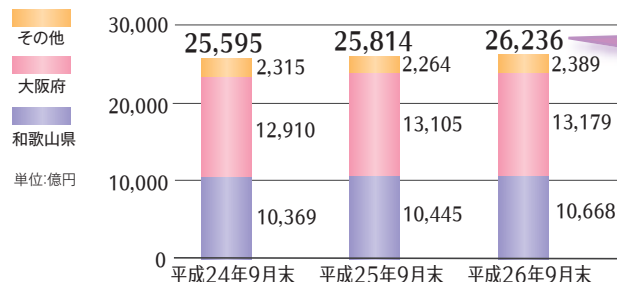
経費については、店舗の新設・移転やシステム関連投資に伴う費用増加などにより経費全体で4億円増加の195億円となりました。



預金等残高(単体)

3兆7,260億円

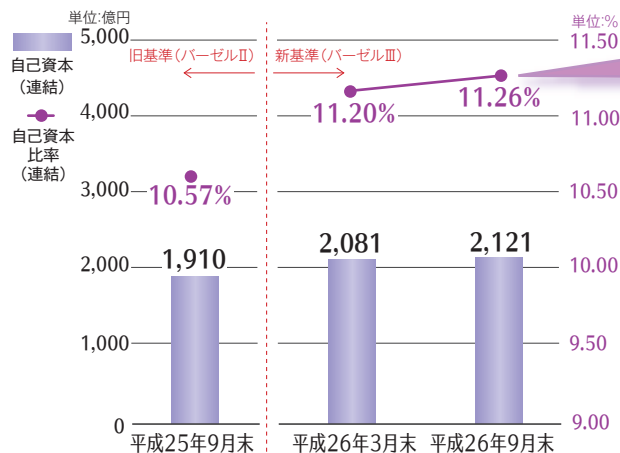
預金等残高は個人預金とその他預金ともに増加し、前年同期末比1,203億円増加の3兆7,260億円となりました。



貸出金残高(単体)

2兆6,236億円

貸出金残高は前年同期末比422億円増加の2兆6,236億円となりました。



自己資本比率(連結)

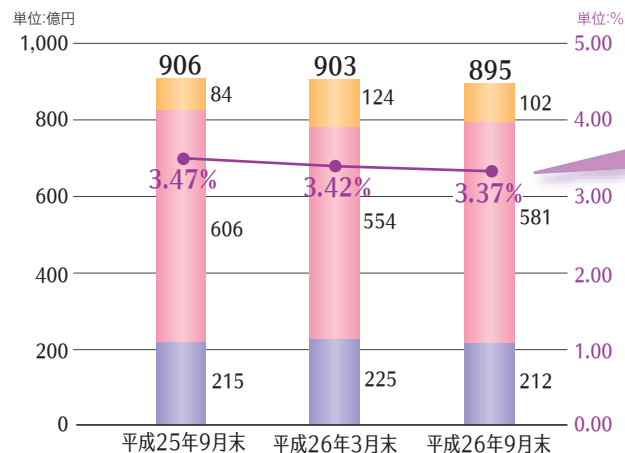
11.26%

自己資本比率(単体)

10.90%

平成26年3月末より新たな自己資本比率規制(バーゼルIII)を適用しており、自己資本額(連結)は2,121億円となり、自己資本比率(連結)は11.26%となりました。

※平成25年9月末以前の自己資本比率は、旧紀陽ホールディングス連結(第二基準)の計数を記載しています。



不良債権比率

3.37%

不良債権残高は前期末比8億円減少し、895億円となりました。不良債権比率については前期末比0.05%低下の3.37%となりました。不良債権額895億円のうち、84.9%は担保や引当金等で保全されています。

外部格付

A_(JCR) A_{-(R&I)}

紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から格付上位のAランクを取得しています。

用語解説

●要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

●危険債権

債務者は経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

●外部格付

外部格付とは、第三者の格付機関が、銀行や企業の「安全度」をランク付したものです。

財務諸表

紀陽銀行(連結)

第205期中 中間連結貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	255,695	預金	3,658,900
コールローン及び買入手形	5,000	譲渡性預金	53,390
買入金銭債権	798	債券貸借取引受入担保金	105,173
商品有価証券	743	借入金	44,122
有価証券	1,187,348	外国為替	19
貸出金	2,616,485	社債	20,000
外国為替	3,272	その他負債	44,564
その他資産	20,316	退職給付に係る負債	29
有形固定資産	35,748	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	8,312	睡眠預金払戻損失引当金	402
退職給付に係る資産	11,053	偶発損失引当金	477
繰延税金資産	1,465	繰延税金負債	2,268
支払承諾見返	12,083	支払承諾	12,083
貸倒引当金	△ 27,036	負債の部合計	3,941,464
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	6,927
		利益剰余金	72,297
		自己株式	△ 2,158
		株主資本合計	157,162
		その他有価証券評価差額金	26,588
		繰延ヘッジ損益	△ 341
		退職給付に係る調整累計額	3,571
		その他の包括利益累計額合計	29,818
		少数株主持分	2,843
		純資産の部合計	189,824
資産の部合計	4,131,288	負債及び純資産の部合計	4,131,288

第205期中 中間連結損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	37,476
資金運用収益	27,205
(うち貸出金利息)	(19,816)
(うち有価証券利息配当金)	(7,204)
役務取引等収益	5,811
その他業務収益	2,876
その他経常収益	1,581
経常費用	28,760
資金調達費用	2,058
(うち預金利息)	(1,420)
役務取引等費用	2,058
その他業務費用	1,861
営業経費	20,798
その他経常費用	1,983
経常利益	8,715
特別損失	126
固定資産処分損	38
減損損失	87
税金等調整前中間純利益	8,589
法人税、住民税及び事業税	2,482
法人税等調整額	268
法人税等合計	2,750
少数株主損益調整前中間純利益	5,839
少数株主利益	22
中間純利益	5,816

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社	・ 紀陽ビジネスサービス株式会社	・ 株式会社紀陽カード
	・ 阪和信用保証株式会社	・ 株式会社紀陽カードディーシー
	・ 紀陽リース・キャピタル株式会社	・ 紀陽情報システム株式会社

紀陽銀行(単体)

第205期中 中間貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	255,520	預金	3,663,631
コールローン	5,000	譲渡性預金	62,390
買入金銭債権	798	債券貸借取引受入担保金	105,173
商品有価証券	743	借入金	44,122
有価証券	1,189,895	外国為替	19
貸出金	2,623,683	社債	20,000
外国為替	3,272	その他負債	35,979
その他資産	7,146	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	36,316	睡眠預金払戻損失引当金	402
無形固定資産	5,832	偶発損失引当金	477
前払年金費用	5,532	繰延税金負債	222
支払承諾見返	12,083	再評価に係る繰延税金負債	169
貸倒引当金	△ 23,382	支払承諾	12,083
		負債の部合計	3,944,705
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	5,270
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	5,011
		利益剰余金	68,101
		利益準備金	4,096
		その他利益剰余金	64,005
		繰越利益剰余金	64,005
		自己株式	△ 2,158
		株主資本合計	151,309
		その他有価証券評価差額金	26,460
		繰延ヘッジ損益	△ 341
		土地再評価差額金	310
		評価・換算差額等合計	26,428
		純資産の部合計	177,738
資産の部合計	4,122,444	負債及び純資産の部合計	4,122,444

第205期中 中間損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	33,910
資金運用収益	27,176
(うち貸出金利息)	(19,790)
(うち有価証券利息配当金)	(7,201)
役務取引等収益	4,680
その他業務収益	775
その他経常収益	1,278
経常費用	24,858
資金調達費用	2,058
(うち預金利息)	(1,420)
役務取引等費用	2,498
その他業務費用	103
営業経費	18,994
その他経常費用	1,203
経常利益	9,051
特別損失	118
税引前中間純利益	8,933
法人税、住民税及び事業税	2,274
法人税等調整額	304
法人税等合計	2,578
中間純利益	6,354

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧

(平成26年9月30日現在)

取締役頭取(代表取締役)	片 山 博 臣	常務取締役	鈴 木 教 秀	監査役(常勤)	樋 口 勝 二
専務取締役	泉 清 映	常務取締役	島 慶 司	監査役(常勤)	北 山 隆 一
専務取締役	松 岡 靖 之	取締役	爲 岡 英 喜	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
常務取締役	森 川 保 彦	取締役	今 村 裕 一	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	成 田 幸 夫	取締役	竹 中 義 人	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	鈴 木 健次郎	取締役(社外取締役)	水 野 八 朗		

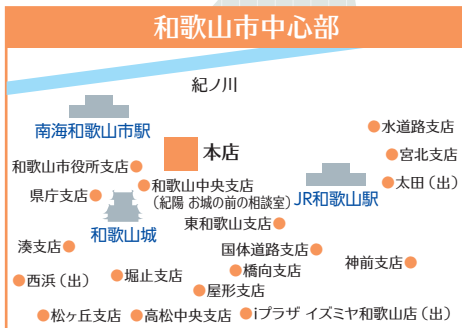
(平成26年9月30日現在)

紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に108店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	118
大阪府	37	45
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	108	165

(インターネット支店含む)

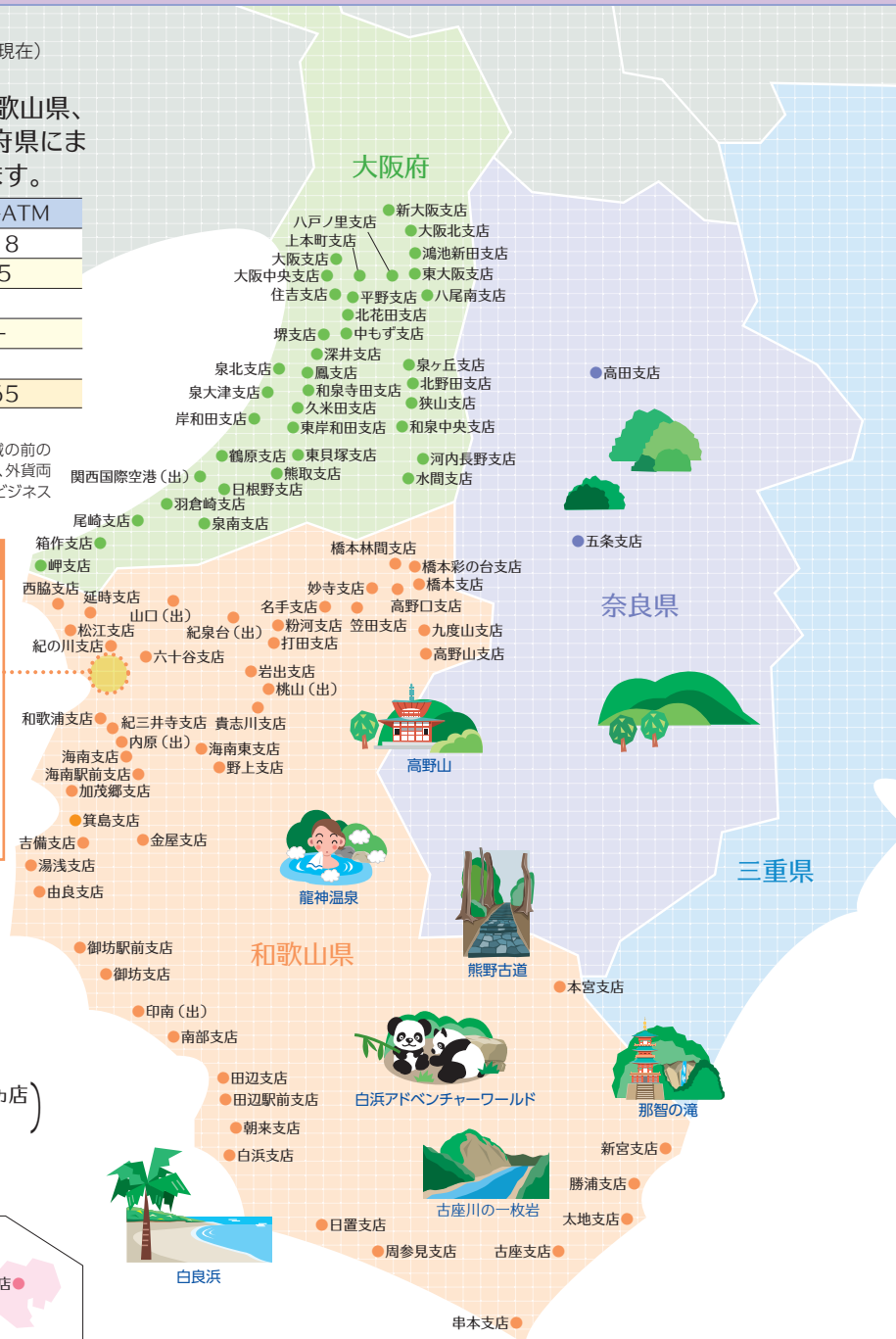
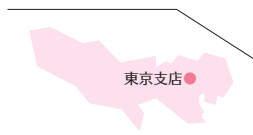
※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インストアランチ「プラザ イズミヤ和歌山店出張所」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(10ヵ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



(出):出張所

株式会社 紀陽銀行

- | | |
|-----------|---|
| ■ 設 立 日 | 明治28年5月2日 |
| ■ 所 在 地 | 和歌山市本町1丁目35番地 |
| ■ 資 本 金 | 800億96百万円 |
| ■ 店 舗 数 | 108店
(和歌山県68ヵ店、大阪府37ヵ店)
奈良県2ヵ店、東京都1ヵ店 |
| ■ 従 業 員 数 | 2,332名 (出向者を除く) |
| ■ 上場証券取引所 | 東証第一部 |



■発行済株式総数

普通株式 73,399,948株

■株主総数

普通株式 21,134名

■配当方針

利益配分につきましては、銀行の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

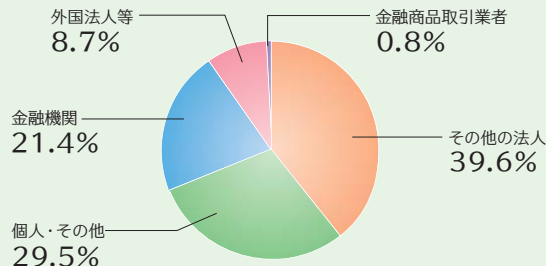
■株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話無料)

■所有者別株式分布 (平成26年9月30日現在)



■大株主の状況

氏名又は名称	持株数等(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,964	2.73
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	1,737	2.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,390	1.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,200	1.66
株式会社 湊 組	1,042	1.45
ザチースマンハッタンバンクエスイロンドンエスエルオムニバスアカウト	982	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	901	1.25
株式会社島精機製作所	839	1.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	815	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	814	1.13

- (注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当行は、自己株式1,537,894株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、上記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。
(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

〔三菱UFJ信託銀行HP <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>〕

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。



株式会社 紀陽銀行

平成26年12月発行

経営企画部 広報・CSR推進室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<http://www.kiyobank.co.jp/>

表紙写真：高野大滝（伊都郡高野町）

高野山から約5kmのところにある落差15mほどの滝。高野龍神スカイラインや護摩壇山とともに赤、橙、黄色に色づく和歌山県内屈指の紅葉スポットです。



紀陽フィナンシャルグループは、2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を応援します。